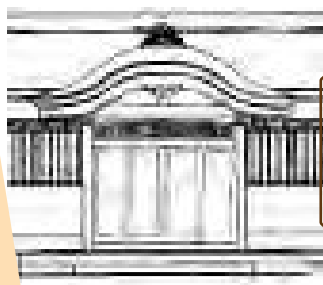


こうじ  
工事の  
げんば  
現場より



からはふ ぶぶん せこう ようす みっちやく  
唐破風部分施工の様子に密着！

げんかんと  
玄関棟すぺしゃる



げんかんと い ぐち ぶぶん くるまよ  
玄関棟の入り口、でっぱりの部分（車寄せ）  
やね かたち からはふ ちゅうおうぶ  
の屋根の形は「唐破風」といいます。中央部は  
むく はし お そ かたち  
起り（凸）で、端に向かって反る（凹）この形は、  
りんしゅんかく やね なか ふ さぎょう なんいど ほし3つ！  
臨春閣の屋根の中でも葺き作業の難易度★★★  
かしよ しょくにん うて み どころ  
の箇所、職人さんの腕の見せ所です。

からはふ しろ しゃじ けんちく  
唐破風はお城や社寺の建築  
などによく使われているデザイン  
だね。あとは銭湯の入り口！



しゅうりまえ  
修理前



ひわだぶき かいたい  
椴皮葺の解体



のきづ  
軒付け

だいく しごと  
大工さんのお仕事



したじ どだい くしがた  
下地の土台「櫛型※」  
※「葺甲垂木」とも称します



椴皮葺の下地  
となる野地板



みのこう ぶぶん さんじげん きよくめん したじ  
葺甲部分は三次元の曲面で、下地も  
あ けいじょう つく あ ひつ  
それに合わせた形状を作り上げる必  
よう のじいた  
要があります。そのため野地板には  
うす ぼうじょう もくざい つか しな  
薄い棒状の木材を使い、撓らせなが  
どだい う つ  
ら土台に打ち付けていきます。



みのこう  
葺甲

あと さいご むね  
この後は最後に棟の  
かわらぶ かわらや  
瓦葺き、瓦屋さんに  
バトンタッチ！



ひら ぶぶん  
平たい部分は  
りょうがわ いっき  
両側から一気  
に葺きあげて  
いきます



♪ここも注目♪



くるまよ とっしゅつぶぶん ほんたいぶ こうさ  
車寄せ突出部分と本体部の交差する  
たに かしよ こうばい ゆる かたち  
谷の箇所は、勾配が緩く、また形も  
どくとく とく せこう むずか かしよ  
独特で特に施工が難しい箇所。ベテ  
ラン職人さんが腕を揮いました。